

真和館だより 第9号

風の彩り

真和館の利用者サービスについて(その5)



施設長 藤本和彦

救護施設の使命は、入所者のみなさんに安心して生活をして頂くことであり、一人ひとりの持てる能力に応じた自立に取り組むことであります。そのためには、一人ひとりの入所に寄り添った工夫された支援が必要であり、その支援を体系化することが大事になってきます。ところで、入所者支援は、①受理面接(インテーク)→②事前評価(アセスメント)→③支援計画(プランニング)→④介入(インタベーション)→⑤経過観察(モニタリング)→⑥終結(ターミネーション)というのが標準的な流れになります。

真和館では、これらの場面、場面で、真和館らしい効果的な支援を創り上げるために、様々な工夫した取り組みを始めたところでもあります。

たとえば、①インテークの段階では、「1分間ラポール(信頼)について」、23年度のQC活動で取り組みましたが、具体的成果まで行き着きませんでしたので、今年度、再挑戦しているグループもあります。

②個別支援計画のアセスの段階では、「ICF(国際生活機能分類)の考え」を取り入れる努力をしています。これも、今の職員的能力では、個々の項目までは理解が十分できませんが、理念だけは理解できますので、これも一歩進化した様式で再挑戦をしています。

③支援計画の段階では、入所者の状況変化に即対応するために、平成23年度のQC活動の成果である「10分間ケース会議」を活用し、問題が発生すると素早い対応を実施しています。その結果、平成23年度のケース会議の数は、10分間ケース会議が147回、これに個別支援計画策定時のケース会議55回と中間見直し時のケース会議55回を加えると、合計257回のケース会議の開催となりました。

④介入の段階では、入所者のみなさんに昨年の夏のキャンプを手始めに、計画の段階から、実施の段階、評価(反省会)の段階まで参画いただく取り組みを始めました。入所者のみなさんも、喜んで参加されています。

⑥評価の段階では、担当職員が個別支援計画の目標に向けた取り組みの状況を毎月纏め、施設長の決済を貰わねばなりません。また、個別支援計画の



真和館の基本理念



《真和館の願い》

救護施設真和館はさまざまな理由で他の制度や他の施設で対応できない方が、安心して暮らせる施設であり、また、人生行路につまづいたり、挫折した人にとっては、旅人が砂漠のオアシスで疲れを癒し新たな旅に出発するように、人生に再チャレンジするための支援ができる施設でありたいと願っています。

入所者統計

1)障害区分状況

H24年4月1日現在

	身体障害	知的障害	精神障害	重複障害		生活障害	合計	(内アルコール依存症)
				身体障害と精神障害	知的障害と精神障害			
男	4	8	38(20)	3	6	1	42	(23)
女	1	0	13(8)	1	0	0	13	(3)
計	5	8	51(28)	4	6	1	55	(26)

※身体(3級以上)・知的・精神障害(3級以上)の数は手帳所持者の数であり、合計とは一致しない。
 ※精神障害の()内は統合失調症者の数である。

2)年齢別入所者状況

H24年4月1日現在

	20~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	合計
男	2	2	9	12	9	8	0	42
女	0	0	5	3	0	5	0	13
計	2	2	14	15	9	13	0	55

平均年齢 男)62歳0ヶ月 女)65歳1ヶ月 全体)62歳9ヶ月

平成24年度年間行事計画

4月	春のスポーツ大会・バーベキュー会 創立記念式典 四季の花見学	8月	ふれあい交流会 夏の日帰り・キャンプ	12月	心みがきの講演会 なかよし祭り 餅つき
5月	春の日帰り旅行 四季の花見学 熊救協スポーツ交流会	9月	四季の花見学 グラウンドゴルフ交流会	1月	初詣 心みがきの講演会 カラオケ大会
6月	四季の花見学 心みがきの講演会 還暦祝い	10月	秋のスポーツ大会・バーベキュー会 四季の花見学 心みがきの講演会	2月	植木市見学 のぎく祭り カラオケ大会
7月	ふるさと訪問(お墓参り)	11月	西原村老人健康づくりスポーツ大会 秋の日帰り旅行 四季の花見学	3月	冬の日帰り・1泊旅行 四季の花見学

平成23年度決算報告

貸借対照表

平成24年3月31日現在

法人合計

資産の部		負債の部	
科目	当年度末	科目	当年度末
流動資産	34,165,638	流動負債	10,549,934
固定資産	375,162,387	固定負債	54,515,151
建物	327,790,088	負債の部合計	65,065,085
土地	7,881,175	純資産の部	
構築物	2,624,000	基本金	58,351,175
車両運搬具	1,023,810	四庫補助等特別積立金	185,349,013
器具及び備品	3,348,573	施設整備等積立金	28,000,000
その他固定資産	32,494,741	次期繰越活動収支差額	72,562,752
		(うち当期活動収支差額)	(12,788,353)
		純資産の部合計	344,262,940
資産の部合計	409,328,025	負債及び純資産の部合計	409,328,025

事業活動収支計算書

(自)平成23年4月1日 (至)平成24年3月31日

法人合計

勘定科目	決算
事業活動収入計	195,405,558
事業活動支出計	181,749,249
事業活動収支差額	13,656,309
事業活動外収入計	451,230
事業活動外支出計	1,319,186
事業活動外収支差額	△ 867,956
経常収支差額	12,788,353
特別収入計	0
特別支出計	0
特別収支差額	0
当期活動収支差額	12,788,353
前期繰越活動収支差額	72,774,399
当期末繰越活動収支差額	85,562,752
その他の積立金積立額	13,000,000
次期繰越活動収支差額	72,562,752

平成23年度 クラブ活動報告

＜合唱クラブ＞

土・日曜の11時から、童謡・唱歌・懐かしい演歌などを中心に、30分間15名程度の方が練習に参加されています。毎月の誕生会や施設のイベント等でも発表を行います。

＜歌おう会＞

毎週土曜日の午後に東館の2階にて開催しています。歌われる曲は新旧様々で、自分で作詞した歌を歌われる方もいます。歌うのが好きな方だけでなく、歌を聴くのが好きな方の参加も多く、歌われている最中は手拍子

＜歩こう会、山歩き会＞

歩こう会は、雨の日でもできるようにパークドームで行っています。参加人数は平均5人とあまり多くはないですが、歩くのが好きな人以外にも健康を目的に参加される方がいます。

山歩き会は、平成23年度は1回も実施することができませんでした。再開を希望する声が高く、4月より月1回

＜ペン習字の会＞

日本習字真和館支部として、現在の20名が参加されています。

1日何枚も練習する方、締め切りギリギリになって書かれる方と皆さんマイペースで書かれています、書き始

＜自彊術＞

規則正しく体を動かすことで、健康な心と身体づくりを行うことを目的として、火・水・木・土・日の10時15分から30分程度実施しています。自彊術によって、腰痛や四十

クラブ活動としては、この他に「手芸クラブ」や「園芸クラブ」があります。

＜心みがきの読書会＞

毎週木曜日の10時30分から1時間程度、落ち着いた雰囲気の中、心が豊かになるような本を読んでいます。

※参考図書

坂村真民著「一日一言」、中国古典の「菜根譚」
北川八郎著「繁栄の法則」「幸せマイルール」

＜茶道クラブ＞

第1、第3の月曜日午後1時30分から、身体障害者裏千家茶道クラブ「もえぎ」の皆さんから手ほどきを受けておられます。

館内の皆さんにもお茶をふるまっておられ、1回平均30名の入所者の方がお茶を飲みに来られ、茶道を通して礼儀作法や人との接し方を学ぶ良い機会と

＜映画鑑賞会＞

日曜日の午後から2階の談話コーナー、または東館2階を使用して上映しております。GWや年末・年始は特別上映会と称し、入所者の方に大人気である「男はつらいよ」シリーズを上映しています。シリアスなものからアクションや時代劇まで幅広く上映し、皆

＜卓球バレー＞

卓球バレーは、平成23年の7月4日からクラブ活動の一環に取り入れ、真和館卓球バレークラブとして活動しています。参加される方は、現在12名(2チーム)おられ、月曜日と金曜日の午前中を練習日とし、各大会が近くなると日曜日の午後にも練習しています。今年度から、新たに熊本市福祉センターにおける卓球バレー教室に参加しながら更なるレベルアップを図り、チームの協調性の向上に努めたいと考え



卓球バレー大会での一コマ

冬の旅行(鹿児島一泊旅行)

平成24年3月21日、22日に鹿児島一泊旅行を行いました。

16名の入所者さんが参加され、知覧の特攻平和会館、池田湖、長崎鼻、水族館、桜島と盛りだくさんの内容でした。

夏のキャンプに引き続き、一泊旅行の参加者全員で、週に1回ミーティングを開き、旅行の行き先や日程、コース等を決め、皆さんまだかまだかと当日を楽しみにされていました。

また、今回初めてマイクロバスを利用しましたが、大好評でした。知覧の特攻平和記念会館で思いを馳せる方、水族館に夢中になった方、桜島の噴火に驚かれる方…皆さん、思い思いの鹿児島を



職員研修報告

アルコール専門施設等見学研修

副施設長 藤本基子

平成24年2月29日(木)午前、東京都清瀬市にある救護施設救世軍自省館様にお邪魔し研修見学させていただきました。

創業、設立以来、アルコール問題への関わりがあり、アルコール依存症者のリハビリ施設として今日に至っておられました。20年前は一律8ヶ月の在籍期間、入所はワンチャンス、平均年齢48.5歳、飲酒、暴力、無断外泊は即退所ということでした。近年では対象者の高齢化が進んでいる事、統合失調症等の合併している人が対象者になってきたことを挙げられていました。午後は、救世軍自省館第9回市民講座「依存症って何?」、講師森岡クリニック院長、森岡洋先生の講演とAAメンバーの体験発表を聞かせていただきました。

で、新生園アルコールミーティングの流れでは、グループミーティングの中に瞑想の時間や内観療法を取り入れておられ興味深いものでした。島根県断酒新生会理事長(新生園元職員)様の話を聞くことができ大変勉強になりました。真和館にも10月に講演に来ていただくことになりました。

翌日、6月9日(火)救護施設泉の園様にお邪魔し研修見学させていただきました。活気あふれる園内で、居宅訓練事業や各種作業を積極的に展開されておられました。居宅訓練のアパートをご案内いただき、また、らっきょうの皮むき作業の様子を研修させていただきました。泉の園謹製 神名

独立行政法人 国立病院機構
南九州病院 筋ジス病棟 実務研修

介護班 嶋村千穂子

平成24年6月11日～15日までの5日間、鹿児島県にある南九州病院(筋ジス病棟)へ実務研修に行かせていただきました。自分が思っていたイメージとは全く違い、そこに入院されている患者様が生き活きとされ、また、今の状態を冷静に受け止められ、何事にもチャレンジする姿を見て感動しました。そして、そこで働かされているスタッフの方全員の仕事に対する意識が高く、确实、的確にやり遂げられ、徹底したサポートをされていました。

あっという間の5日間であり、QOLについて自分自身の生活を振り返り、人生においてもとても

真和館職員の資質向上に向けての取り組み

第5期真和館QC活動報告



サークル名:おみだいどころ
テーマ:「新メニューへの挑戦!」

私達おみだいどころは、調理職員と栄養士から構成されているサークルです。入所者の食に対する満足度向上を目指す為、平成23年度の取り組みとして、リクエスト頂いた握り寿司、お好み焼き、かるかん饅頭、手作りケーキを給食にて提供しました。一品ごとに、時間を短縮する為にはどうするべきか、なぜ膨らまないのかなど、問題が出てくる度に話し合い、解決策を考え、給食で提供を行いました。結果、88%の入所者の方にもう一度食べたいと言って頂き、新メニューが満足度へ繋がっていることがわかりました。リクエストメニューのほかにも、夏みかんゼリーや、サツマイモプリン、天井、魚コロッケなど、様々な新メニューに挑戦し、日々入所者の食に対する満足度向上に努めています。

断酒の取り組み

真和館では、毎週木曜午後13時よりAAを行い、第2・第4週は城北グループの方にお越しいただき、メッセージを運んでいただいております。

「無力ということについて、断酒の誓いの時に言う言葉が親身に伝わってきます。いろんな人のおかげで今年の10月で酒をやめているのが3年になります。人間というのは、人と人との関係で生きています。自分だけではどうにもなりません。生きてるのはみんなのおか

「字の通り無力な人間です。私の無力さはアルコールに対して無力だと、断酒の誓いで言う通りです。酒に対して無力だとありますが、その通り無力で他にも無力なことはある。私は、こ

「真の感謝はここで飲まれないということに感謝しないといけないのではないかと思います。病院で隠れ飲みをして見つかって1年半いたけど、ここが厳しいということでした。」



アルコールからの回復

～AAのみなさんからのメッセージ～

第25回心みがきの講演

会

平成24年6月13日、AAの城北グループ・ケンさん、宇城グループ・カカシさん、肥後大津グループ・ビンさんをお迎えし、「アルコールからの回復」についてご講演をいただきました。3名の方には、どのような背景でアルコールに依存するに至ったのか、またどうやって回復されたのかというお話をさせていただきました。

「アルコール依存症は、仕事をなくし、家族をなくし、命をなくすと病院で言われました。実際に私も酒気帯び運転で懲戒解雇になり、家族とは別居しています。子どもも、ずっと顔を見ていません。それで、毎週木曜にAAにでて、そこではアルコール依存症ということを知る、人の話を聞いているようになる、自分と重なるということを感じます。」

「今現在、抗酒剤を飲んで、病院へ週1～3回行って、大事なことはAAに参加すること。聞いて話して、自分と重ね合わせることで、持ち帰って生活に生かす。今は飲んでないけど、明日は分かりません。今日1日だけ飲むのを止めよう、そしたら明日余計に美味しいと思って、明日は明日また考えようと思うようにしています。そうやって6年くらい経ちました。今日1日飲まないということは、そ

第24回AA九州・沖縄地域ラウンドアップin熊本

阿蘇いこいの村で開催された、第24回AA九州・沖縄地域ラウンドアップin熊本(平成24年6月29日～7月1日)に真和館AAメンバー5名と施設長をはじめ、合計8名で参加しました。

オープニングセレモニーでは各地域、各地区からスピーチがあり、36年間断酒継続中の方と出会いました。2日目のパネルディスカッションでは、以前真和館に入所しておられた方に再会し喜び合い、夜はラッフルや生バンド演奏で盛り上がり、真和館メンバーはコーヒークップを引き当て喜び合いました。

ラウンドアップには初参加であり、2泊3日の館外泊も初の試みとなりました。それぞれの心に何かしらパワーを感じて帰館しております。

梅雨も明け、本格的な暑さがやってきました。夏本番です。今からの次期、「熱中症」に十分注意しましょう。外に出掛ける際は帽子をかぶり、なるべく直接肌を露出しないような服装が望ましいでしょう。また、脱水を起こさないよう、こまめに水分を補うことが大切です。厳しい暑さに負けない体力を維持し、この夏を乗り切りましょう。



医務室便り

みなさん、こんにちは！
調理室からです。
今回は栄養たっぷりデザートメニューについて載せたいと思います。
簡単に作れるベジタブルムースの作り方です。
果物のデザートではなく、野菜のデザートを作れないかとのお声を頂き、みなさんが食べやすい野菜のデザートを作りました。

- ★材料(1人分)
- ・野菜ジュース 25cc
 - ・生クリーム 25cc
 - ・上白糖 6g
 - ・ゼラチン 1.6g



- ★作り方
- ①野菜ジュースにゼラチンと上白糖を半分(3g)加え、加熱する。
 - ②①のゼラチンと上白糖が溶けたら、ボールごと冷水で冷やし、とろみが出るまでかき混ぜながら粗熱を取っていく。
 - ③②を冷やしている間、生クリームと上白糖の残り(3g)を加え、7分立てになるまで泡立てる。

調理室便り



嶋村千穂子

4月よりお世話になって
います、介護福祉士の嶋
村と申します。入所者の
皆さまに配慮した、質の
高いサービスを目指し、
心身の状況に配慮した支
援ができるよう頑張りを



竹下美智代

こんにちは。4月から入りま
した竹下美智代です。みな
さまと一緒に頑張ってい
こうと思っておりますので、どうぞ



松本諒太

今年度、熊本学園大学を
卒業し、精神保健福祉士
として入職致しました。新
人として精一杯頑張ります
のでよろしくお願いしま

新任職員紹介

お誕生者の案内

7月	8日 本川さん	10月	4日 飯干さん
	11日 福田さん		4日 藤岡さん
	16日 前川さん	11月	1日 雨森さん
19日 東條さん	16日 野田さん		
19日 本田(武)さん	24日 河野さん		
8月	2日 澤見さん	12月	25日 葉井さん
	6日 木山さん		3日 永田さん
	18日 佐藤淳さん		4日 堺さん
	27日 増本さん		5日 植田さん
9月	29日 林田さん	12月	8日 西山さん
	11日 川口(誠)さん		9日 尾崎さん
	20日 小田(初)さん		14日 橋本さん
	28日 松本さん		21日 大塚さん

編集後記

やがて梅雨も明け、いよいよ本格的な暑さが到来します。休養と栄養をしっかりとって今年の夏も乗り切りたいと思います。みなさんも体調等崩されないようお気をつけ下さい。

さて、今年の夏は節電に心掛けねばなりません。真和館でもどう節電をしていくか、今対策を考えているところです。また、今回は3名の新任職員をご紹介させていただきました。今後とも宜しくお願い致します。

<編集責任・広報委員>
藤原・田上



発行: 社会福祉法人 致知会
救護施設 真和館

〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村鳥子3072番地
TEL:(096)279-1121 FAX:(096)279-1122
E-mail: shinwakan@utopia.ocn.ne.jp

※「風の彩り」に掲載されている写真等は、ご本人の了解を得ております。